

議会だより

や ま と

山都



第56号

熊本県山都町議会

2025.5

3月定例会

3月定例会

令和7年第1回定例会は、3月6日に開会し18日に閉会しました。

【議案】条例24件・補正予算4件・当初予算6件・工事請負契約2件・その他10件・人事案件同意3件

令和7年度当初予算 141 億 4,300 万円

令和7年度の一般会計当初予算は、空家対策事業や住宅取得支援事業を展開しており、さらに宅地整備の調査にも予算をつけるなど、移住定住政策に力を入れてあります。また、町道の維持・改良について前年度から増額するなど、住民生活環境の向上や、産業振興に向けたインフラ整備も意識されたものになっています。

議員からの質疑も住宅政策、水質検査、公立保育園、企業誘致、有機農業、矢部高校支援など幅広く上がり、予算に対する説明を求めていきました。

歳入 単位：千円

款	本年度予算額	前年度予算額	増減
町税	1,432,609	1,492,923	-60,314
地方贈与税	311,018	313,018	-2,000
利子割交付金	200	200	0
配当割交付金	3,000	3,000	0
株式等譲渡所得割交付金	3,000	3,000	0
法人事業税交付金	24,000	19,000	5,000
地方消費税交付金	330,000	320,000	10,000
ゴルフ場利用税交付金	8,000	8,000	0
環境性能割交付金	18,000	18,000	0
国有提供施設等所在市町村助成交付金	9,000	9,000	0
地方特例交付金	5,000	4,000	1,000
地方交付税	5,700,000	5,700,000	0
交通安全対策特別交付金	1,200	1,200	0
分担金及び負担金	44,470	74,304	-29,834
使用料及び手数料	110,069	112,889	-2,820
国庫支出金	1,878,603	4,228,773	-2,350,170
県支出金	1,273,751	2,034,052	-760,301
財産収入	66,986	35,563	31,423
寄付金	600,001	200,001	400,000
繰入金	1,087,065	832,926	254,139
繰越金	100,000	100,000	0
諸収入	276,328	117,751	158,577
町債	860,700	1,445,400	-584,700
合 計	14,143,000	17,073,000	-2,930,000

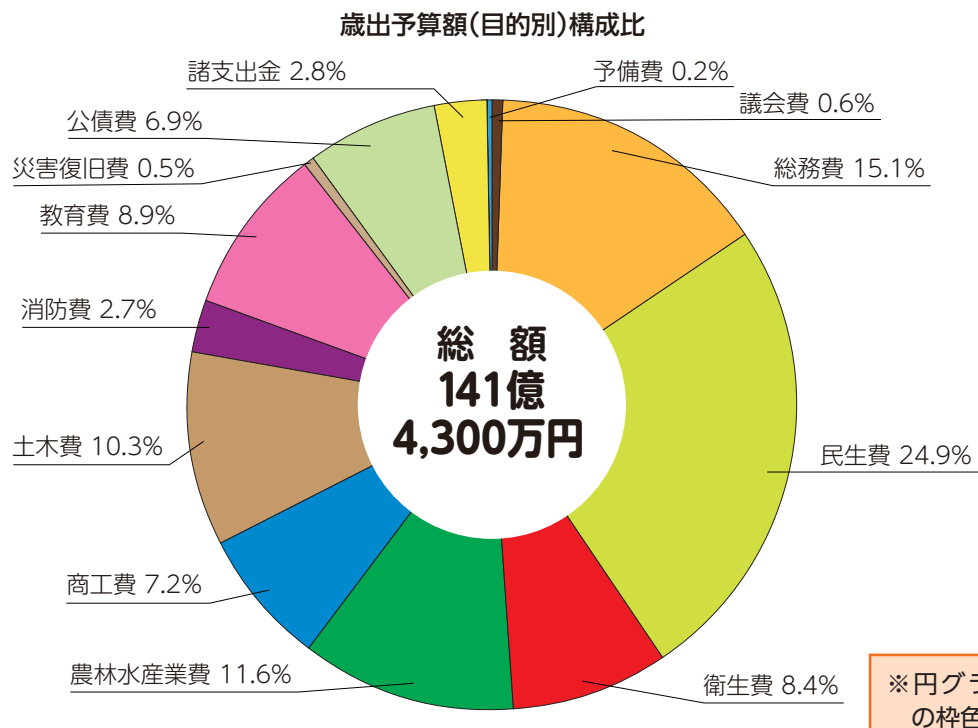
歳出 単位：千円

款	本年度予算額	前年度予算額	増減
議会費	91,754	91,554	200
総務費	2,137,043	1,939,651	197,392
民生費	3,515,187	3,370,294	144,893
衛生費	1,180,953	1,207,134	-26,181
農林水産業費	1,636,562	1,354,654	281,908
商工費	1,014,694	747,642	267,052
土木費	1,456,825	1,148,431	308,394
消防費	383,943	406,274	-22,331
教育費	1,255,630	1,764,445	-508,815
災害復旧費	68,989	3,909,261	-3,840,272
公債費	979,678	936,088	43,590
諸支出金	391,742	167,572	224,170
予備費	30,000	30,000	0
合 計	14,143,000	17,073,000	-2,930,000

令和7年度一般会計予算の特徴

- ・災害復旧費の減額
- ・中央グラウンド周辺整備事業費の減額（教育費）
- ・道路工事費の増額（土木費）

上記の主な理由により、令和6年度と比較しておよそ30億円の減額となっています。



令和7年度一般会計予算の内容（抜粋）

小・中学校整備改修

6,183万7千円

- ・矢部小学校体育館屋根改修工事
- ・蘇陽南小学校鉄棒更新工事
- ・蘇陽小学校滑り台更新工事
- ・矢部中学校バリアフリー・エレベーター改修工事
- ・清和中学校浄化槽設置工事
- ・蘇陽中学校特別教室屋上防水工事
- ・矢部中学校昇降口他天井改修工事

二種免許取得支援事業補助金

60万円

- ・地域公共交通の運転手確保が目的 補助率1/2、上限20万円

物価高騰対応生活者支援補助金

1,800万円

- ・物価高騰対策としてLP ガス使用世帯に補助

中央グラウンド周辺整備事業

1億9,000万円

- ・中央グラウンド整備工事 1億9,000万円
- ・公園サイン(避難誘導含む)工事 200万円

住宅等取得支援事業補助金

3,000万円

- ・今年度から町内在住者の空家購入、新築も対象
- 老朽空家等除去促進事業補助金 300万円
- ・老朽化した空家の解体を補助 補助率4/5、上限50万円
- 空家等家財撤去支援事業補助金 200万円
- ・空家バンク登録物件と老朽空家除去に係る家財撤去費用を補助 補助率1/2、上限10万円

住宅長寿命化改修事業

1億2,600万円

- ・改修工事：同和公営住宅・南田A団地
- ・解体工事：千滝団地・小集落住宅団地・井無田団地・上ゲ団地

医療 MaaS 事業推進業務委託料

1,100万円

- ・医療 MaaS の実動に伴う業務支援と行政 MaaS 活用に向けた業務支援を委託

道の駅通潤橋施設整備工事

806万5千円

- ・駐車場整備工事 341万円
- ・ロータリー部縁石改修工事 387万5千円
- ・屋外喫煙所設置工事 78万円

PFOS&PFOA 水質検査補助金

60万円

- ・地区水道、飲用井戸所有者等が実施する水質検査に対する補助金

通潤橋周辺施設整備事業

5億9,124万5千円

- ・用地調査補償調査委託料 1,665万2千円
- ・飲食施設新設、多目的広場整備等 5億6,543万5千円
- ・飲食施設用備品購入 915万8千円

地籍調査事業

3億9,999万7千円

- ・令和7年度実施地区 御所・菅・西緑川

一般会計予算

Q&A

問(中村) 総合計画作成に1千478万円もかけてする必要はあるのか。

答(企画政策課長) 必ず作らなければならぬものではないが、町の最上位計画、方向性を示すものとして、より良いものを作っていきたい。

問(飯開) 老朽空き家等除去促進事業補助金300万円の説明を。

答(山の都創造課長) 要望の多かった新設の補助金。消費税を含む除去費の5分の4、上限50万円。家屋だけでなく門、塀、樹木処分も補助対象にする予定。

空き家等家財撤去支援事業補助金も合わせて申請できる。

問(吉川) 宅地整備調査委託料の説明を。

答(山の都創造課長) 遊休の町有地を含めた宅地に適した場所の選定や、事業に

係る工事費の概算や基本計画等初期段階の調査を委託する。

問(眞原) サブリースについての考えは。

答(山の都創造課長) ニーズ調査が必要。住宅の維持管理、修繕、家賃徴収、耐震改修等もあり検討を要する。

問(西田) 公立保育園人件費が減額になっていることの説明を。人員配置は足りているのか。

答(福祉課長) 園児数減により、一クラス減の13クラスでスタートしている。正職員1名減ではあるが、派遣職員や会計年度任用職員の雇用により、スタート時点としては充足していると考えている。

問(飯開) 金内、二瀬本両保育園を含め、来年度の保育園の形の説明を。

答(福祉課長) 令和7年度は現行の5園体制でいく。今後の出生数、園児の動向を見て、新たな見解を示す。

問(坂本) PFOS、PFOAの水質検査補助金の説明を。

答(環境水道課長) 町管理以外の地区水道や個人が対象。検査に係る費用の半額助成。

問(矢仁田) 有機農業をもつと広める方策は。

答(農林振興課長) みどりの食料システム戦略交付金を最大限活用し、今年度は有機米に特化した事業を行い、面積拡大を図っていく。

問(矢仁田) 企業誘致の予算がないが、どう考えているのか。

答(山の都創造課長) 本町にマッチした企業への働きかけを行いながら、状況に応じた予算の計上を検討していく。

問(藤川) 矢部高校魅力化



事業の内容と下宿改善補助金の説明を。

答(生涯学習課長) 高校魅力化支援事業として、学校、市町村、関係団体の協働体制により、目標やビジョンを策定していくもの。カリキュラムの見直しや寮整備も話し合う。

下宿も寮も希望によるが、受け入れのための改修費用1件20万円限度の2件分予算化した。

現在下宿生はいない。

問(藤川) 矢部高校についての全体的な町のテコ入れについての考えは。

答(町長) 寮建設については、対応を模索しながら大きく動いていければと思う。

う。

各科の魅力の情報発信を高校と一緒にやっていく。二輪車競技部の環境を整え、魅力の一つとなるよう企業や関係団体にも呼び掛けたい。

問(工藤) 受け入れ態勢を早く確立し、検討だけでなく実行を。

答(町長) これまで予算を立てながら行ってきたが、町内の中学生が矢部高校を目指す、また全国から来ていただくことが町の活性化につながる。喫緊の課題とし、しっかり取り組む。

問(吉川) 図書整理にICチップタグ導入の説明を。

答(生涯学習課長) 職員の作業効率をあげ、また本の貸し出しの管理もバーコードで行えるようになる。



令和7年度 国民健康保険特別会計当初予算

23億2,585万円

・被保険者数 3,745人 (2,356世帯) (令和7年1月末現在)

令和7年度 後期高齢者医療特別会計当初予算

3億5,568万5千円

・被保険者数 3,905人 (令和7年1月末現在)

令和7年度 介護保険特別会計当初予算

29億8,960万円

65才以上の人口 6,693 名

高齢化率 52.2%

(前年より 0.7%上昇)

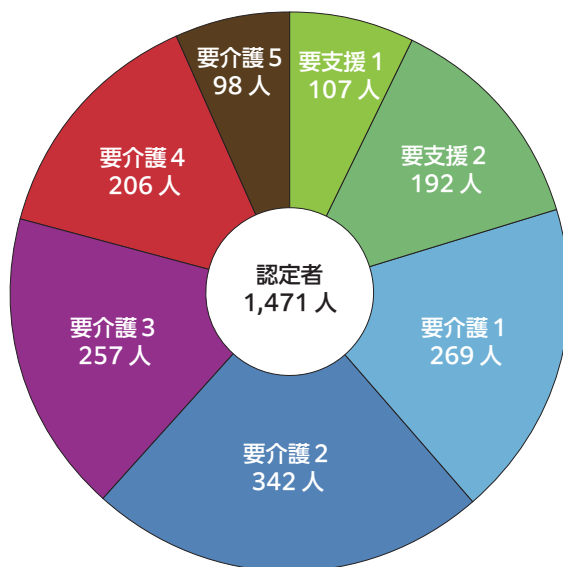


介護認定者率 約 22%

◎約4人に1人は介護認定をうけておられます。



要支援・要介護認定者
1,471人



問 (眞原) 保険者努力支援交付金(※1)の説明を。

答 (健康ほけん課長)

町が国保税の収納率や健診の受診率を上げたり、レセプト(※2)の2重チェック等により医療費を抑えたりしたことなどの成果に応じて国から交付されるもの。

※1 国保事業運営の大切な財源のひとつです。

※2 レセプト…医療機関が患者に対して行った診療や治療にかかる費用の内訳を記載した「診療報酬明細書」のことです。

令和7年度 水道事業会計当初予算

6億8,064万円

・給水戸数 5,100戸 1日平均給水量 2,958m³

令和7年度 病院事業会計当初予算

12億994万円

・入院患者(見込み) 1日平均45人 外来患者(見込み) 1日平均154人

令和 6 年度一般会計補正予算(第 7 号)

1 億 3,300 万円を減額 総額 193 億 400 万円

主な内容

民生費

・国民健康保険特別会計繰出金 523万 9 千円

衛生費

・令和 5 年度新型コロナワクチン接種関連補助金返還金 527万 4 千円

農林水産業費

・地籍調査事業 2,758万 2 千円

・林業振興費 636万 3 千円

土木費

・住宅長寿命化改修事業 2,613万円

設計監理委託 200万円(南田 A 団地分)

町営住宅解体工事 469万 7 千円(6 団地間の調整)

町営住宅居住性向上改修工事 1,943万 3 千円(2 団地間の調整)

災害復旧費

・現年度林業施設災害復旧費 1,113万 7 千円



令和 6 年度山都町国民健康保険特別会計補正予算(第 3 号)

228 万円 1 千円を追加 総額 27 億 5,634 万 9 千円

令和 6 年度山都町介護保険特別会計補正予算(第 3 号)

139 万円 2 千円を追加 総額 31 億 5,016 万円

令和 6 年度山都町水道事業会計補正予算(第 5 号)

3,069 万 1 千円を追加 総額 4 億 1,352 万 7 千円



よしかわ みか 議員



全質問の動画はこちらです

食糧危機も怖くない
「山都暮らし」の提案

問「永続地帯」というデータがある。その地域で得られる再生可能エネルギーと食糧の生産が、その地域の需要を上回っている指標であり、山都町はいずれも高い数値が出ている。田舎であればあるほどこの率は高い傾向にあるが、そのことをメリットに変えて、山都町らしい暮らし方を提案したい。山都町の安心安全な農業を踏まえた農地付き住宅政策を考えられないか。

答（山の都創造課長）町の住生活基本計画があり、令和5年に見直した。住民生活の価値観の多様化や、コロナ禍を通して生活の転換が必要となった。食糧危機にも負けない山都町の強みを取り入れた住宅政策の検討をしたい。

問農地付きの住宅は、農地法の絡みもあり厳しいという事だが、

全国的には例がある。国交省も「農地付き空き家の手引き」と表示し、空き地や空き家の増加を重要課題としている。後継者のいない田畑を新規就農の方へ継承できるように、空き家と農地をセットで提案して頂きたい。せっかく先人が築いてきた農業を継承しなければ、荒れた田畑が残るだけの田舎となってしまう。持続可能な田舎であるためにどう知恵を絞っていくべきか。

答（農林振興課長）新規就農希望者の住居と農地が離れていることは課題だと捉えている。5年後10年後の農地を守るためにも、後継者育成は最重要課題と認識している。町で実施している農業研修制度を更に充実させ新規就農者支援と担い手の確保に務めたい。

永続地帯の指標

（千葉大学
+ NPO 法人環境エネルギー政策研究所調べ）

山都町	全国	28 位
	県内	3 位
再生可能エネルギー自給率		342%
食糧自給率カロリーベース		171%
食糧生自給率生産額ベース		208%



さかもと こうせい 議員



全質問の動画はこちらです

地域おこし協力隊の予算について伺う

問地域おこし協力隊の予算について伺う。

答（企画政策課長）令和6年度は報酬費等275万円、その他活動費130万円となる。申請を受けて、その予算の枠内で支払うようにしている。活動助成金を予算化したのは令和5年度からで、受入れ団体には地域おこし協力隊の理解を得て申請を行うよう通知をしている。

問地域おこし協力隊の活動報告会について。

答（企画政策課長）協力隊と協議しながらやっていく方向でいきたい。

問猪と鹿の駆除対策について。

答（農林振興課長）今後新しい捕獲技術があれば、それを積極的に活用しながら捕獲頭数を増やしていきたい。

問不妊ワクチンの検討をして頂きたいが。

答（農林振興課長）国、県と協議しながら捕獲対策を進めていきたい。

問矢部高校について、後期募集への応募が無かったことについてどう考えるか。

答（町長）山都町において応援会議ということで生徒確保を進めているが、非常に重く受け止めたい。

問矢部高校二輪車競技部が国際交通安全学会から特別表彰を受けたが、生徒確保につながらないか。

答（町長）昨年10月からバイク通学に対する助成をしている。矢部高校の特色の一部である二輪車競技部の活動を今後とも応援していきたいと考えている。

問矢部高校に協力頂きながらバイクツーリングを歓迎する町の取り組みは出来ないか。

答（生涯学習課長）例えば二輪車競技部に実際走ってもらい現地を紹介し、SNSで発信して頂くことで山都町の魅力アップにもつながると考える。

問ツーリングマップの作成やライダーへの商品券の配布を行う事は出来ないか。

答（商工観光課長）本年度観光DX事業の一環としてレシートキャンペーンを実施した。SNS活用事業を盛り込んで観光キャンペーンを軸に事業内容の構成を考えている。



や に た ひ で の り
矢 仁 田 秀 典 議員



全質問の動画は
こちらです

10年後、20年後を見据え、私の提案を町長がどう考えるか

問 25年度地方創生交付2,000億円に採用される事業を考えているか。

答（町長）若者が住み良い町づくり、高齢者が安心して住めるまちづくりができるメニューがあれば活用したい。

問 地方創生交付金を使って矢部高校を全寮制にし、義務教育学校から高校までの一環教育にして、矢部高校では有機農業をはじめ英語や中国語などの特別授業をし、矢部高校を核とした教育日本一の町を目指すのはどうか。

答（町長）新たな小中高の一貫校の提案としては受け止めるが、現在の義務教育学校の設置、寮の設置を含め、矢部高校の存続に向けた応援を進めたい。

問 地方創生交付金は広域の方が採用しやすい。近隣の町村と広

域の鳥獣害獣の堆肥化処理施設なら負担は8分の1で済むが。

答（町長）検討の余地はある。全国的な課題として、国と協議し緊急に対応策を講じて取り組む。

問 今年米・野菜が高いと言っている。持続可能な農業生産にするためには、消費者に理解してもらうように、町を挙げて国に要望する必要があると思うか。

答（町長）JAを始めとする様々な関係機関と連携を取りながら、あらゆる機会をとらえて国にお願いしたい。

問 鳥獣被害の危機的状況を国に訴え、国にハンターを雇ってもらう要望としてはどうか。

答（町長）国がハンターを雇う仕組みについて、国に対して意見交換しながら被害解消に取り組むたい。

問 台湾と姉妹都市提携と企業誘致ができるよう働きかけたが、町が動かずできなかった。調整、活動はどうなっているか。

答（町長）台湾企業から具体的な相談はないが、台湾との交流を進めながら、企業誘致と地域振興を推進していきたい。



に し た ゆ み こ
西 田 由 未 子 議員



全質問の動画は
こちらです

山都町の水源地や河川のPF₆O₄、PF₆O₃の検査結果と今後の対策について

問 昨年末に河川7か所を追加検査した理由と検査結果についての説明を。

答（環境水道課長）熊本市の河川調査の結果、指針値を超過する事例があったため、上流域での河川として、閉鎖された最終処分場下流域を含む7か所を独自に選定し検査した。結果は水道の暫定目標値50ナノグラムの十分の一のPF₆O₄、PF₆O₃合わせて5ナノグラム未満のため、安心と思われる。

問 大矢野原簡易水道についての検査結果はどうだったのか。

答（環境水道課長）萱野、上津留の2カ所を検査し、同様の結果だった。

問 日本では暫定目標値が50ナノグラムだが、アメリカ環境保護庁は「予防原則」に沿ってPF₆O₄、PF₆O₃をそれぞれ1リットルあたり4ナノグラムとしている。合

算で5ナノグラム以下でも、安全だとは言えない。米軍が使用した泡消火剤由来だったPF₆O₃の値が、廃棄物処理場由来だったPF₆O₄の値が高く出ることになり、それぞれの数値が分からないと、その後の対策にも結び付かないはず。合算ではなくそれぞれの数値を出してほしい。

答（環境水道課長）現在国において、最新の科学的見地に基づく専門家の検討が行われており、その状況や県の状況対応を注視して、それに基づき検討していく。

問 蘇陽地区の東竹原に出されようとしている大型の産廃処分計画地には、安定型処分場がある。安定型処分場は、管理型処分場と違って汚水漏れを防ぐシートもないことから、大変心配である。

町は事業者に対し、監視井戸を掘り町立ち合いのもと、PF₆O₄、PF₆O₃検査をすること、少量でも検出されたらその除去をすることを申し入れるべき。また、東竹原の産廃処分場予定地には、町管理下の河川がある。こども町の責任で調べる必要があるのではないか。

答（町長）山都町内の最終処分場付近について、環境汚染があってはならない。現在検査を行っている部分、議員ご指摘の方法、信ぴょう性も含めて、今後しっかりと対応し考えていきたい。

山都町短期滞在施設の条例の一部改正

短期滞在施設の蘇陽3号棟A・B棟は老朽化による傾きが著しく、安全面を考慮して供用を廃止します。



山都町デマンド型乗合タクシー条例の一部改正

清和地区から浜町エリア、清和地区から馬見原エリアへの運賃が1,000円から500円に改定されます。また、障がい者の方は半額（介助者は、1名まで半額）、未就学児は無料です。

時刻表

運行日 月曜日～金曜日

平日のみの運行です。
12/29～1/3は運休です。

行き	各集落発	地域中心着
行き1便	9:00～9:55	10:00頃
行き2便	13:30～14:25	14:30頃



予約受付
1週間前～前日16時
1週間前～当日1時間前

帰り	地域中心発	各集落着
帰り1便	12:30	12:35～13:30頃
帰り2便	16:00	16:05～17:00頃



予約受付
1週間前～当日1時間前
1週間前～当日1時間前

山都町議会議員及び山都町長の選挙における 選挙公報の発行に関する条例の制定

新

有権者に対し、公平公正に候補者の情報を届け、投票の判断を行っていただくため、また、投票率の向上を図るために、選挙公報を発行することが有効な手段であると考え制定されました。

指定管理施設の条例改正

今回、町の指定管理施設について、9施設の宿泊料や使用料等に係る条例改正が行われました。
今般の社会的情勢により、諸物価、資材費及び人件費等が上昇しており、同施設の運営経費が確実に増加することが想定されることから、現在の施設経営に与える影響と、将来的な指定管理料への町費負担の影響を考慮し使用料等改正に至ったものです。

施設については、以下の通りです。

①通潤橋史料館 ※現在、改修工事中です



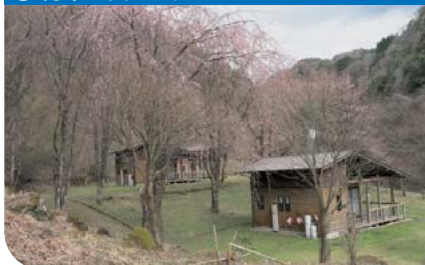
利用者数(年間)
令和4年 7,829人
令和5年 9,524人

②猿ヶ城キャンプ村 ☎ 72-1222



利用者数(年間)
令和4年 839人
令和5年 657人
(※)
※災害により閉鎖期間あり

③緑仙峡フィッシングパーク ☎ 82-3224



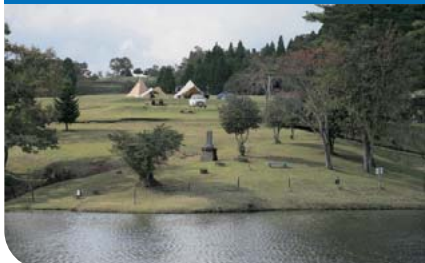
利用者数(年間)
令和4年 1,597人
令和5年 1,925人

④青葉の瀬交流促進施設 ☎ 82-3511



利用者数(年間)
令和4年 4,870人
令和5年 4,641人

⑤井無田高原キャンプ場 ☎ 82-3210



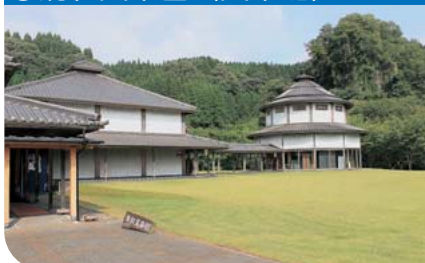
利用者数(年間)
令和4年 2,393人
令和5年 2,015人

⑥清和高原天文台 ☎ 82-3300



利用者数(年間)
令和4年 4,862人
令和5年 5,607人

⑦清和文楽邑(文楽館) ☎ 82-3001



利用者数(年間)
令和4年 10,318人
令和5年 12,779人

⑧そよ風パーク ☎ 83-0880



利用者数(年間)
令和4年 62,727人
令和5年 76,634人

⑨服掛松キャンプ場 ☎ 83-0249



利用者数(年間)
令和4年 30,261人
令和5年 23,681人

山都町観光入込客数(1/1~12/31)

令和6年 544,242人
令和5年 551,399人
令和4年 632,505人

※山都町三大祭等を含みます。

議員定数削減が決定

14人から12人へ

令和6年の12月定例会で議員発議された議員定数を削減する条例改正案が、3月定例会で可決されました。ここでは可決までの議会の動きを解説します。

令和6年12月10日付けで、山都町議会の議員の定数を定める条例の一部改正について発議が出されました。

提出者 工藤文範議員、賛成者 後藤壽廣議員

これを踏まえ、全議員が委員となる「山都町議会の議員の定数を定める条例の一部改正について検討する特別委員会」が設置され、委員長として藤原秀幸副議長が選任されました。その後、3回の開催で十分な討議がなされ、3月定例会において3月18日に賛成多数により原案可決という委員長報告がなされました。

少数意見※の内容

この委員長報告に対して少数意見報告書が提出され、本会議で賛成及び反対討論が行われました。

少数意見の提出者 眞原誠委員、賛成者 藤澤和生副委員長・吉川美加委員・西田由未子委員。

※少数意見の詳細については議事録でご確認いただけます。

○平成23年の地方自治法改正により法定上限制度は廃止されており、山都町の人口が減少しているというだけでは、定数削減の合理的な理由とはならないこと。

○議員定数の削減は、住民の多様な意見を町政に届けるという重要な機能を損なうことにつながるため慎重な議論が必要なことなど。

議長 この少数意見に対して質疑はありませんか。

問 工藤議員

3回の特別委員会の中で、非常に地域が広く、住民の意見が通りにくい。また、困っている方からの意見が聞き取りにくいような話があった。しかし、議員数を元の18名、22名に戻そうという意見は出なかった。14名でなければ議会運営が出来ない理由が分からない。12名で議会活動は出来ると思う。12名でなぜできないのか。理由を聞く。

問 後藤議員

どちらが正しいか私には分からないが、自治振興区や区長制度もあるし、議員の役割、各役割を明確にし、地域振興につなげるべき。自治振興区の立場、議員の立場というのは、どう理解しているか。

答 眞原議員

12名にするべきであるという根拠が3回の会議の中で十分に議論がし尽されていないと感じる。

自治振興区の制度の運用は、各地域で抱えている課題等に対して、行政に課題を申し立てしながら、解決に向けて提言をされている。

る。また、議員の役割は、二元代表制の下で、議員14人が様々な立場から、住民の福利増進に資する施策であるかどうかを判断し議決に向かうこと。

賛成意見

坂本議員

議員は地区の代表でもあるが、山都町全体を網羅して考える必要がある。

賛成意見

吉川議員

人口減が主な理由であり、その他合理的な理由が明らかでない。山都町の広い面積を考えた時、14議席が12議席になるメリット・デメリットの議論が足りない。

反対意見

西田議員

議員を削減すると常任委員会の活動に支障が出るのではないか。合併して20年間の間、既に削減が行われてきており、委員会活動が活発に行われるためにも定数を人口減のみで結論づけることはできないと思う。

賛成意見

矢仁田議員

人口減だけでいいのか。

色んな人の考え等を聞いてすべきだという事で、特別委員会が発足した。その結果、特別委員会の3回目は堂々めぐりで同じ意見しか出ずに採決に至ったという経緯があり、反対意見の検討する必要があるという意見には賛成できない。私は12名で十分だと思う。

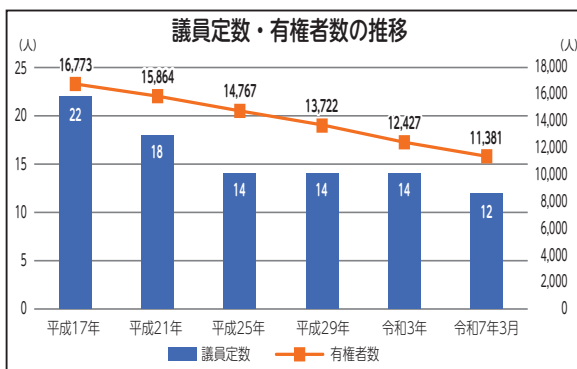
反対意見

眞原議員

議論がまだ尽くされていない状況で12名にする必要はないと考える。もっと慎重な議論が必要である。

採決の結果

賛成10名、反対3名で原案のとおり可決されました。



工事請負契約の締結

- ・工 事 名：**通潤橋物産館増改築工事**
- ・契 約 金 額：1億4,630万円
- ・契約相手方：株式会社 尾上建設
- ・入札の方法：指名競争入札
- ・内 容：内装全面改修(A = 338.43㎡)
内部配置の変更(倉庫新設及び店舗
レイアウトの変更)
電気設備取替え(照明のLED化)
空調機器取替え(7基)



通潤橋物産館完成予想図

- ・工 事 名：**通潤橋トイレ新築工事**
- ・契 約 金 額：6,105万円
- ・契約相手方：有限会社 吉見建設
- ・入札の方法：指名競争入札
- ・内 容：建築面積(A = 54.32㎡)
構造(木造平屋建て)
設備(男性トイレ 小便器6基・大便器3基
〈うち、ベビーチェア2箇所〉)
(女性トイレ 大便器8基〈うち、ベビーチェア4箇所〉)
(みんなのトイレ 大便器1基・オストメイト1基・ベビーシート、ベビーチェア)



トイレ周辺の予想図

町長の専決処分事項の指定について

- ① 町営住宅等の家賃等の請求及び明け渡しの請求に関する訴訟、和解及び調停に関すること。
- ② 法律上、町の義務に関する損害賠償で、その額が1件100万円以下のものの額を定めること並びにこれに伴う和解及び調停に関すること。

以上2点について、町長の専決処分事項と可決されました。

用語解説【専決処分】

専決処分には、2種類あります。

1つ目は、時間的に議会の招集を待てない場合などの専決処分です。この場合、議会への報告と承認が必要です。例えば、特に緊急を要するものとして、大雨や台風による災害復旧のための応急措置などがあります。

2つ目は、軽微な内容で、あらかじめ議決によって指定(委任)している専決処分です。この場合、議会への報告は必要ですが、あらかじめ指定しているので承認は必要ありません。

陳情

件名

「要望書」山都町に社会実装
プラント(改質リグニン製
造ベンチプラント)誘致の
お願い

付託年月日 令和5年12月7日

陳情者 兵庫県神戸市長田区丸山町
1-7-16
西山 彰

審査の結果

不採択

審査意見

経済建設常任委員会では、先進地での視察研修や情報収集に努めた。現状としては新素材としての大きな可能性は秘めているものの、実用化に向けては実証段階にあり、大規模な投資が必要なプラント誘致は、まだその時期ではないと判断した。

用語解説「改質リグニン」

「改質リグニン」は日本固有の樹木スギから作るバイオ由来の新素材です。「熱に強い」「加工しやすい」「環境にやさしい」という理想的な性質をもち、様々な製品の素材として利用できます。改質リグニンは、スギ材の中に3割ほど含まれる「リグニン」という成分を原料に製造されます。

陳情

件名

水俣病の早期解決を国へ要望する意見書の採択を求める陳情書

付託年月日 令和7年3月6日

陳情者 水俣市桜井町2-2-20
水俣不知火患者会内
水俣不知火患者会会長
岩崎 明男

審査の結果

採択

審査意見

今陳情については、早期の解決を図らねばならない重要な課題と認識する。水俣病が公式確認されて、69年が経とうとしている。水俣病に起因する様々な症状に苦しみ、言われない偏見を受けてきた当事者は高齢化している。熊本県民として水俣病の諸問題が一日も早い解決に向かうよう国に要望することは、当然のことと考える。

3月24日に、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、環境大臣あてに、山都町議会議長名で意見書を提出

選挙管理委員会委員、及び同補充員の選挙結果

(任期 令和7.3.25～令和11.3.24)

選管委員

坂田篤彦(浜町)

田中要(米迫)

中川初美(万坂)

藤原秀樹(鶴ヶ田)

補充員

玉目秀二(玉目)

増田光美(米生)

坂本誠一郎(上寺)

岩田陽一(金内)

※補充員

委員に欠員があるとき、補充員名簿の順に委員に就任します。



同意第3号

山都町副町長の人事案について同意しました

【山都町副町長(新)】

坂本 浩さん(下市)

このたび、町議会の同意を得て4月1日付けで副町長に就任いたしました。53年ぶりのふるさとです。久方ぶりのふるさとで私に何ができるかわかりませんが、住民の代表である議員の皆様と山都町執行部との潤滑油となり、町長をお支えして町勢発展に貢献したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



同意第2号

山都町監査委員の人事案について同意しました

【山都町監査委員(新)】

橋本 由紀夫さん(馬見原)

この度、監査委員を拝命しました。山都町の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理を監査するにあたり、事務処理の能率性と組織、運営の合理化を念頭に微力ながら務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



同意第1号

山都町教育委員の人事案について同意しました

【山都町教育委員(新)】

上田 恵子さん(柚木)

このたび教育委員を拝命いたしました。精一杯務めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



表紙写真 第19回山都町写真コンテスト 写真の部 山の都賞

撮影者：保田 周一さん 77歳 (八代市在住)
タイトル：「高畑年弥神社の牛さん」
(たかはたとしねじんじやのうしさん)

(本人コメント) 高畑年弥神社の田植え祭は山都町の無形文化財でもある神楽より始まります。畔作り、牛さんによる田起し、田植えと一連の行程が子どもたちにより演じられ今年の豊作が祈願されます。この写真は田植え踊りと呼ばれています。

読者アンケートに寄せられた意見

- 予算の詳細が分かるように載せてほしい。(10代)
- 最近町民の方から伺ったら山都町では不登校の子どもさんで苦労してる方が多いと聞きます。教育委員会は当然専門性を掲げて対応しているとは思いますが、議会等での論議はなされているのか。役場、議会、学校等は子育て支援等の先頭に立ち率先してやるべき所。如何なる取り組みがなされているか、広報、議会だより等での掲載を期待します。(70代)
- 議会だよりに載っている写真が分かりやすい。(10代)

賛否の表

○：賛成 ●：反対

事件名	議決年月日	採決結果	東	坂本	眞原	西田	中村	矢田	興梠	藤川	飯開	吉川	後藤	工藤	藤原
令和6年 発議第2号	山都町議会の議員の定数を定める条例の一部改正について	R7.3.18 可決	○	○	●	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○

「議会だより」に関する
ご意見・ご感想は
右記のQRコードから
お寄せください。



ユニバーサルデザインを活用しています。
ご意見お待ちしております。

次の定例会は、
6月の予定です。

※詳しい日程等については、議会事務局までお問い合わせください。(☎72-1289)

本誌で掲載していない3月定例会の議案と議決結果は、山都町HPに掲載しております。



編集後記

令和6年度4回目の議会だよりです。時が経つのは早いもので、今年も農繁期の忙しい時期を迎え日々奮闘のことと存じます。

さて山都町は、2月11日、町民の皆様と共に合併20周年の節目を迎え、記念式典が挙行されました。町の魅力をこれまで以上に発信し、魅力ある山都町づくりに思いを巡らしています。汗を流す事を怠らず未来に向かって取り組まなければならないところです。

(興梠 誠)

発行責任者 議長 藤澤 和生
議会広報委員会 委員長 眞原 誠
副委員長 西田由未子
委員 矢田秀典 興梠 誠 後藤 壽廣 工藤 文範

